



## 平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月5日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東  
 コード番号 7453 URL <http://ryohin-keikaku.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 暁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画室長 (氏名) 武内 健治 TEL 03-3989-5972  
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月6日 配当支払開始予定日 平成28年11月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年2月期第2四半期の連結業績（平成28年3月1日～平成28年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	161,717	9.7	19,758	22.9	17,393	6.9	11,715	12.9
28年2月期第2四半期	147,448	19.3	16,071	38.1	16,275	37.9	10,373	49.7

(注) 包括利益 29年2月期第2四半期 5,523百万円 (△58.1%) 28年2月期第2四半期 13,168百万円 (147.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	441.02	439.75
28年2月期第2四半期	391.21	389.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第2四半期	194,510	145,666	73.0	5,345.15
28年2月期	200,919	143,173	69.4	5,247.93

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 142,054百万円 28年2月期 139,382百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	110.00	—	136.00	246.00
29年2月期	—	137.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	137.00	274.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年2月期の連結業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	336,500	9.4	38,000	10.3	38,000	16.2	24,300	11.9	913.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規一社（社名 ー）、除外一社（社名 ー）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期2Q	28,078,000株	28年2月期	28,078,000株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	1,501,672株	28年2月期	1,518,572株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期2Q	26,565,308株	28年2月期2Q	26,517,553株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成29年2月期の個別業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	9.9	23,100	18.3	25,500	24.9	16,800	18.7	631.40

(注)個別業績予想の数値の当四半期における修正の有無: 無

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
販売実績	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2016年4－6月期の実質GDPの成長率が、プラス0.2%（年率換算0.7%）となり、2四半期連続のプラス成長となりました。マイナス金利政策の影響から住宅投資が前期比プラス5.0%と前期から大きく増加したことや、個人消費が同プラス0.2%と2四半期連続のプラスとなったことが全体を下支えいたしました。

また、世界経済は、6月23日に行われた英国の国民投票でEU離脱が選択されたことにより、為替や株式市場に大きな影響を与えました。現在のところ欧州の実体経済への影響は、顕在化していないものの、英国とEUの離脱交渉の先行きは依然として不透明であり、欧州域内の投資や雇用の抑制が懸念されます。一方、強い経済指標を示す米国では、雇用の増加傾向に鈍化がみられるものの、ニューヨークダウが史上最高値を更新するなど、米国経済の先行きに対する期待は引き続き強まっております。今後については、米国の利上げのタイミングが、米国経済に限らず、主に新興国経済へ与える影響も懸念されることから、その時期について世界の注目を集めております。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良い暮らし」を実現する企業”として、『ムダをなくす取り組み（廃棄物削減）』『天然資源の保全』『安心・安全への配慮』『絆を大切にする活動』『温暖化への配慮』といったテーマを軸に、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりであります。

営業収益	1,617億17百万円	(前年同期比 9.7%増)
売上高	1,613億53百万円	(前年同期比 9.6%増)
営業利益	197億58百万円	(前年同期比 22.9%増)
経常利益	173億93百万円	(前年同期比 6.9%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	117億15百万円	(前年同期比 12.9%増)

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ① 国内事業

国内事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,057億54百万円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は109億25百万円（同24.8%増）と増収増益となりました。

同連結会計期間末の無印良品店舗数は、418店舗（前年同期差10店舗増）。うち直営店323店舗（同27店舗増）、ライセンスストア67店舗（同1店舗増）、西友28店舗（同18店舗減）となりました。

衣服・雑貨では「オーガニックコットン」「フレンチリネン」シリーズといった素材にフォーカスをあてたキャンペーンにより、紳士及び婦人ウェアが好調に推移いたしました。生活雑貨では「体にフィットするソファ」や「超音波うるおいアロマディフューザー」などの定番商品が売上を牽引いたしました。また、食品では「宮崎風冷や汁」などの「ごはんにかける」シリーズがマスメディアにも取り上げられ好調に推移いたしました。

#### ② 東アジア地域事業

東アジア地域事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は432億19百万円（同10.8%増）、セグメント利益は92億77百万円（同18.3%増）となりました。

同連結会計期間末の無印良品店舗数は、246店舗（前年同期差49店舗増）となりました。

東アジア地域事業の約60%を占める中国において、新規出店を重ねる一方で既存店売上高前期実績も超過し、安定した業績を残しました。前期に上海にオープンした旗艦店が新たな顧客の開拓を推進し、中国全土に好影響を与えております。他の子会社3社とも既存店売上高前期実績を超過いたしております。

#### ③ 欧米地域事業

欧米地域事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は79億67百万円（同8.2%増）、セグメント損失は7億65百万円（前年同期は4億82百万円の損失）となりました。

同連結会計期間末の無印良品店舗数は、69店舗（前年同期差1店舗減）となりました。

米国では、前期にオープンしたニューヨーク5番街の店舗において各種イベントを行った上でSNSを通じた情報発信を行うことにより、認知度が高まり、米国内のそれぞれの店舗で高い売上成長率を見せております。また、再建策を進める欧州地域では不採算店の整理を進める一方で、高収益の店舗をさらに伸ばすべく改装を進めており、当年度の業績は低迷しているものの、次年度に向けた準備を整えております。

④ 西南アジア・オセアニア地域事業

西南アジア・オセアニア地域事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は47億74百万円(同21.7%増)、セグメント利益は52百万円(前年同期は68百万円の損失)になりました。

同連結会計期間末の無印良品店舗数は、48店舗(前年同期差7店舗増)となりました。

子会社4社すべてにおいて、既存店売上高前期実績を10%以上超過し好調に推移いたしました。またライセンス展開企業においては、サウジアラビアにて新たに営業を開始いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、1,945億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億8百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少105億65百万円、投資有価証券の増加31億38百万円によるものです。

負債は488億43百万円と89億2百万円減少いたしました。これは主に、未払金の減少11億94百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少53億53百万円、未払法人税等の減少13億61百万円によるものです。

純資産は1,456億66百万円と24億93百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加80億97百万円、為替換算調整勘定の減少77億73百万円、その他有価証券評価差額金の増加22億28百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月12日付「平成28年2月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

#### (税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、グループとしての税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するために、当社及び一部の連結子会社は、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による前第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用はしていません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	43,692	33,126
受取手形及び売掛金	7,281	7,138
有価証券	—	1,673
商品	56,840	60,406
仕掛品	44	102
貯蔵品	44	50
繰延税金資産	1,825	765
未収入金	7,727	7,528
その他	2,098	2,191
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	119,547	112,975
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	43,454	42,391
減価償却累計額	△17,118	△17,479
建物及び構築物(純額)	26,336	24,912
機械装置及び運搬具	3,699	3,618
減価償却累計額	△1,425	△1,459
機械装置及び運搬具(純額)	2,274	2,158
工具、器具及び備品	16,042	16,250
減価償却累計額	△9,119	△9,532
工具、器具及び備品(純額)	6,922	6,717
土地	1,890	1,931
リース資産	47	42
減価償却累計額	△46	△41
リース資産(純額)	1	1
建設仮勘定	288	516
有形固定資産合計	37,712	36,238
<b>無形固定資産</b>		
のれん	6,924	5,628
その他	6,917	6,897
無形固定資産合計	13,841	12,526
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	10,204	13,343
繰延税金資産	341	282
敷金及び保証金	16,333	16,326
その他	3,082	2,958
貸倒引当金	△143	△140
投資その他の資産合計	29,817	32,770
固定資産合計	81,372	81,534
資産合計	200,919	194,510



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,382	17,879
短期借入金	402	—
1年内返済予定の長期借入金	6,813	1,459
未払金	6,402	5,208
未払費用	4,181	3,723
未払法人税等	4,929	3,567
賞与引当金	1,136	825
役員賞与引当金	74	33
返品調整引当金	37	17
ポイント引当金	84	53
その他	3,179	2,622
流動負債合計	44,625	35,391
固定負債		
長期借入金	7,913	7,500
繰延税金負債	3,261	4,096
役員退職慰労引当金	25	25
その他	1,921	1,830
固定負債合計	13,120	13,452
負債合計	57,746	48,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,807	10,800
利益剰余金	122,085	130,183
自己株式	△6,849	△6,722
株主資本合計	132,809	141,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,102	4,330
為替換算調整勘定	4,469	△3,303
その他の包括利益累計額合計	6,572	1,027
新株予約権	348	358
非支配株主持分	3,442	3,253
純資産合計	143,173	145,666
負債純資産合計	200,919	194,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	147,187	161,353
売上原価	76,260	80,619
売上総利益	70,926	80,734
営業収入	261	363
営業総利益	71,188	81,098
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,138	2,348
配送及び運搬費	5,962	6,583
従業員給料及び賞与	15,170	17,919
役員賞与引当金繰入額	25	33
借地借家料	15,012	15,821
減価償却費	3,242	3,642
ポイント引当金繰入額	26	△30
その他	13,540	15,021
販売費及び一般管理費合計	55,117	61,339
営業利益	16,071	19,758
営業外収益		
受取利息	71	99
受取配当金	157	169
貸倒引当金戻入額	62	2
その他	261	243
営業外収益合計	552	514
営業外費用		
支払利息	29	20
為替差損	253	2,834
その他	64	24
営業外費用合計	348	2,879
経常利益	16,275	17,393
特別利益		
固定資産売却益	42	0
投資有価証券売却益	666	—
特別利益合計	709	0
特別損失		
固定資産除却損	107	101
減損損失	69	—
解約違約金	—	75
その他	—	1
特別損失合計	177	178
税金等調整前四半期純利益	16,807	17,215
法人税等	6,602	5,582
四半期純利益	10,205	11,632
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△168	△82
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,373	11,715

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益	10,205	11,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,647	2,228
為替換算調整勘定	1,315	△8,337
その他の包括利益合計	2,962	△6,109
四半期包括利益	13,168	5,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,256	6,170
非支配株主に係る四半期包括利益	△88	△647

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,807	17,215
減価償却費	2,647	2,962
ソフトウェア投資等償却	677	799
のれん償却額	426	404
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△62	△2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△48	△41
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△83	—
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△58	△15
受取利息及び受取配当金	△228	△268
支払利息	29	20
為替差損益(△は益)	16	144
投資有価証券売却損益(△は益)	△666	—
固定資産除却損	107	101
減損損失	69	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,210	△1,221
たな卸資産の増減額(△は増加)	△126	△8,931
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,235	3,783
その他の資産の増減額(△は増加)	752	△0
その他の負債の増減額(△は減少)	1,837	105
新株予約権	34	36
その他	△10	84
小計	17,096	15,174
利息及び配当金の受取額	228	269
利息の支払額	△24	△15
法人税等の支払額	△5,243	△5,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,057	9,512
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△111	△390
定期預金の払戻による収入	13	58
有価証券の取得による支出	—	△1,707
有形固定資産の取得による支出	△3,680	△4,073
店舗借地権及び敷金等の支出	△922	△612
店舗敷金等回収による収入	494	361
無形固定資産等の取得による支出	△1,027	△1,077
投資有価証券の売却による収入	1,546	—
その他	16	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,670	△7,450

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,835	△368
長期借入れによる収入	3,054	—
長期借入金の返済による支出	△214	△5,712
非支配株主からの払込みによる収入	71	505
自己株式の取得による支出	△1	—
自己株式の売却による収入	209	206
配当金の支払額	△2,789	△3,615
非支配株主への配当金の支払額	△72	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,577	△9,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	444	△3,371
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,253	△10,357
現金及び現金同等物の期首残高	30,464	41,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,717	30,693

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 地域事業	欧米地域 事業	西南 アジア・ オセアニア 地域事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	97,147	39,011	7,366	3,922	147,448	0	—	147,448
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	34	—	—	—	34	8,557	△8,591	—
計	97,181	39,011	7,366	3,922	147,482	8,558	△8,591	147,448
セグメント利益 又は損失(△)	8,757	7,842	△482	△68	16,049	237	△215	16,071

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△215百万円にはセグメント間取引消去△2百万円、棚卸資産の未実現利益消去△213百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「国内直営事業」「国内供給事業」「欧州地域事業」「アジア地域事業」「その他地域事業」の5区分から、「国内事業」「東アジア地域事業」「欧米地域事業」「西南アジア・オセアニア地域事業」の4区分に変更しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧米地域事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、69百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 地域事業	欧米地域 事業	西南 アジア・ オセアニア 地域事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	105,754	43,219	7,967	4,774	161,716	0	-	161,717
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	103	-	-	-	103	8,522	△8,626	-
計	105,858	43,219	7,967	4,774	161,820	8,523	△8,626	161,717
セグメント利益 又は損失(△)	10,925	9,277	△765	52	19,489	231	37	19,758

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額37百万円にはセグメント間取引消去14百万円、棚卸資産の未実現利益消去22百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績(営業収益)をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		営業収益(百万円)	前年同四半期比(%)
国内事業		105,754	108.9
東アジア地域事業	中国	26,432	115.3
	香港	6,844	100.0
	台湾	6,614	102.5
	韓国	3,327	119.4
	小計	43,219	110.8
欧米地域事業	アメリカ合衆国	2,534	130.6
	イギリス	1,548	85.2
	フランス	1,219	87.8
	ドイツ	881	100.0
	イタリア	747	106.2
	カナダ	424	151.7
	スペイン	377	—
	ポルトガル	85	—
	その他	147	41.8
	小計	7,967	108.2
西南アジア・オセアニア 地域事業	シンガポール	1,813	109.3
	タイ	1,079	119.4
	オーストラリア	802	161.6
	マレーシア	516	126.3
	その他	563	123.8
	小計	4,774	121.7
計		161,716	109.7
その他(注)1		0	72.6
合計		161,717	109.7

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. 従来、販売実績において表示していた「売上高」は、第1四半期連結会計期間より、「営業収益」を表示しております。

また、この変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の販売実績の組替を行っております。

3. 上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。



## 4. 営業収益の商品別の構成は次のとおりであります。

商品別	営業収益(百万円)	前年同四半期比(%)
衣服・雑貨	60,224	106.3
生活雑貨	85,051	111.3
食品	10,398	117.8
その他	6,042	109.0
合計	161,717	109.7

(注) 1. 上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。